

- 教育プログラム -

- マンツーマン指導による新人教育システム
- スペシャリストへのステージアアップを支援
- 院外研修への補助

進化は挑戦からはじまる

マンツーマン指導による 新人教育システム

『新人教育ラダー』

新人教育は各疾患の班別に分かれて行っています。希望の班を入職時に確認します。

班別教育の中でも「マンツーマン指導」を取り入れており、分からないことも「すぐに確認できる先輩がいる」という安心感を持てます。



8月
～
3月

新患の初期評価や代診を実施。
目標：他セラピストと同様の業務が行える。
一年間通して、毎月指導者会議を行い、新人職員の現在の状況、今後の方針の確認等を行いフォローする。
8月にはリハ科内での発表、年度末には院外発表を実施。

7月

月末目標は独立(軽度～重度):8.9人程度のリハビリを実施。
月末には中等度の患者の代診を独立で開始。

6月

月末目標は独立(軽度～中等度):5.6人程度。
監視下(重度):2人 程度のリハビリを実施。
月末には軽度の患者の代診を独立で開始。

5月

月末目標は独立(軽度):3.4人,監視下(中等度):2人 程度のリハビリを実施。
月末には軽度の患者の代診を監視下で開始。

4月

*免許到着前
～到着後

指導者の監視の下、院内やリハビリ室の業務内容の把握に努め、間接業務を中心に行う。

指導者の患者・新患を、到達状況に応じて徐々に新人が担当を行う。

月末目標は監視下:2人程度のリハビリを実施。



定期的に勉強会や院内研修会が開催されています。また、院外研修には補助金が支給され、さらなるスキルアップが可能です。



疾患別班に分かれているため、病態の理解やリスク管理の徹底など専門性を高めることができます。また、困った時は経験豊富なベテランセラピストに相談できます。



いい仕事をするためには、いい休息を。休憩時間は業務とのメリハリがあり、各々自由なひと時を過ごしています。業務後は定期的に行われるフットサルやバレーボールなどでリフレッシュしています。